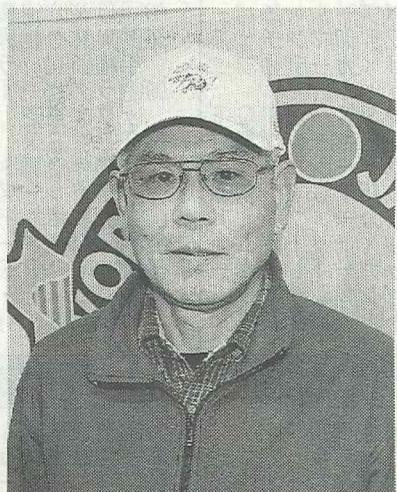


2014年(平成26年)2月1日 土曜日

# システム開始から1年8カ月 とりっぽ歩で1万キロ突破

## 倉吉の佐伯さん(71)



とりっぽの累積距離が1万キロに達し、記念の帽子をかぶる佐伯さん。次の目標に向かって、これからも歩き続ける

携帯電話やスマートフォン(多機能携帯電話)で歩行距離などが記録できる鳥取県独自のウォーキングシステム「とりっぽ(歩)」で、倉吉市新陽町の佐伯忠道さん(71)が累積距離1万キロを突破した。2012年4月のシステム運用開始から約1年8カ月での達成に見えていなかつたものが見え、佐伯さんは「いつのまにか1万キロ歩いていた」とはいかむ。

佐伯さんがウォーキングをする約4万キロ歩くことを自

身こり解消のために歩き始めた妻に付き合って歩いたのがきっかけだった。当時、佐伯さんはゴルフに夢中で、ウォーキングで足腰が丈夫になれば、ゴルフの上達にもつながると思って歩いていたという。

それでも佐伯さんは「培った筋肉が落ちてしまうのが嫌だった」と歩き続け、12月にとりっぽ(歩)での累積距離が1万キロに到達。さらにことし1月、自身が記録している累計が8万キロを突破し、2度目の「地球1周」を果たした。

佐伯さんは「歩くと普段見えていなかつたものが見えてくる。気分もよくなる」と、ストレス発散につながる」とウォーキングの魅力を始めたのは1995年。する約4万キロ歩くことを目指した」と笑う佐伯さん。相棒のウォーキングシューズと共に、これからも一歩ずつ記録を伸ばしていく。

標に設定。96~2005年の9年間で、その目標を達成した。

とりっぽ(歩)が導入され

れた12年以降、佐伯さんは

ますますウォーキングに力

が入り、昨年7月には月間

では過去最長となる約760キロを歩いた。しかし、その

影響で足の裏が炎症を起こし、医者から「休んだほうがいい」と言われたという。

それでも佐伯さんは「歩

った筋肉が落ちてしまうのが嫌だった」と歩き続け、

12月にとりっぽ(歩)での

累積距離が1万キロに到達。

さらにことし1月、自身が

記録している累計が8万キロ

を突破し、2度目の「地球

1周」を果たした。

次は「80歳までに累計で10万キロ歩くことを目指したい」と笑う佐伯さん。相棒

のウォーキングシューズと

と共に、これからも一歩ずつ記録を伸ばしていく。